

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、北京オリンピック等の大きなニュースもありましたが、やはり米国サブプライムローン問題によるリーマン・ブラザーズの破綻から始まった急激な景気後退がダントツの重大ニュースといえるでしょう。

年の前半までは、加熱気味と思えるBRICSを中心とする全世界的な好景気でしたが、後半からは前半とは正反対の景気後退状況になり、今年に入ってもその先行きは不透明なまままで今後の状況を予想できない状態となっています。これは、企業がグローバル化を推進した結果、良くも悪くも、これらの企業が同時に全世界地域で種々の影響を受け易くなり、それにより全世界が同時にそれも急激な景気変動に見舞われる状態になったためと思われる。いずれにせよ、ここ何年かの好景気は、やはり行き過ぎであったと痛感しますし、石油、鉄等の異常な高騰もそうですが、この状況がずっと続くこと自体、異常事態と思わざるを得ません。ここ数年の過熱気味ともいえる好景気により、各企業が本来の自身の姿を見失い、この景気に踊らされ、翻弄されたともいえます。今年も、もう一度冷静になって、本来の我を

再構築（本来のリストラクチャリング：改革）する良い機会と捉えて取り組むべきだと思います。

前段が長くなりましたが、今回の特集は、年に一度の1月号に企画されているテーマである「建設機械」です。

昨年、建設機械では、石油の高騰、温暖化により、より省エネルギーが要求され、注目された年でした。それにより、建機業界でも、自動車業界と同様に、ハイブリッド化を中心として省エネ化が進んだ年と思います。

そこで、今年の「建設機械」特集では、「省エネ」をキーワードに各建設機械での省エネルギー技術を紹介することにしました。

また、ハイブリッドでは、建機を代表する機種である油圧ショベルにおいて、各社から量産化モデルが発表され、そのことから「建機のハイブリッド元年」ともいえます。

今年も、市場では、米国の一極化経済から多極化経済へ。技術では、ハイブリッド化等新たな技術革新のステージでの展開となり、企業は本来の自身の姿・在り方を見出し、自己改革を進めていくことになるでしょう。

最後になりますが、今回執筆していただいた皆様には、お忙しい中、ご協力いただき、改めて御礼申し上げます。

(和田, 石倉)

## 機関誌編集委員会

### 編集顧問

浅井新一郎	今岡 亮司
上東 公民	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
佐野 正道	新開 節治
関 克己	高田 邦彦
田中 康之	田中 康順
塚原 重美	寺島 旭
中岡 智信	中島 英輔
橋元 和男	本田 宜史
渡邊 和夫	

### 編集委員長

岡崎 治義 (社)日本建設機械化協会

### 編集委員

廣松 新	国土交通省
浜口 信彦	国土交通省
米田 隆一	農林水産省
小沼 健一	(独)鉄道・運輸機構
野村 英孝	(株)高速道路総合技術研究所
石戸谷 淳	首都高速道路(株)
高津 知司	本州四国連絡高速道路(株)
平子 啓二	(独)水資源機構
松本 敏雄	鹿島建設(株)
和田 一知	川崎重工業(株)
安川 良博	(株)熊谷組
渥美 豊	コベルコ建機(株)
富樫 良一	コマツ
藤永友三郎	清水建設(株)
山本 茂太	キャタピラージャパン(株)
宮崎 貴志	(株)竹中工務店
泉 信也	東亜建設工業(株)
中山 努	西松建設(株)
斉藤 徹	(株)NIPPO コーポレーション
三柳 直毅	日立建機(株)
岡本 直樹	山崎建設(株)
中村 優一	(株)奥村組
石倉 武久	住友建機製造(株)
京免 継彦	佐藤工業(株)
久留島匡繕	五洋建設(株)
藤田 一宏	施工技術総合研究所

### 2月号「建築特集」予告

- ・建築物総合環境性能評価システム (CASBEE) の概要
- ・環境行動計画 2008 : 住宅・建築物の省エネ性能の向上
- ・バリアフリー新法に基づくバリアフリー化の進捗状況
- ・街づくりに関する情報化の取組み
- ・国交省で保有する建物の省 CO<sub>2</sub> 調査
- ・近年の建築施工関連研究
- ・施工シミュレーションの動向
- ・ドイツの建設産業における構造変化とテクノロジー利用
- ・最新の屋上緑化と課題
- ・超高層集合住宅におけるリフトアップ工事
- ・NEDOにおけるアスベスト処理対策技術開発と最新動向
- ・ハイブリッド構造の高架駅
- ・博多駅開発の特徴と施工計画
- ・建築物の構造ヘルスマニタリング
- ・既存事務所ビルと灯台レンズの免震レトロフィット
- ・環境改善効果を強化した植物

## No.707「建設の施工企画」 2009年1月号

〔定価〕1部840円(本体800円)  
年間購読料9,000円

平成21年1月20日印刷

平成21年1月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 辻 靖 三

印刷所 日本印刷株式会社

## 発行所 社団法人 日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	部〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	部〒980-0802 仙台市青葉区二丁目16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支	部〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1	電話 (025) 280-0128
中部支	部〒460-0008 名古屋市中区栄4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支	部〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	部〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	部〒760-0066 高松市福岡町3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	部〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-8-26	電話 (092) 436-3322